

1, ごあいさつ

新型コロナウイルス (SARS-CoV2) による感染症 (COVID-19) の世界的な流行が続いていますが、みなさまにはいかがお過ごしでしょうか？

本研究会は、昨年度末に開催した WS(ワークショップ)「ふるさと大道村」以後、ご連絡しましたように「葉山まちづくり展」参加 (5月24-27日) や WS「夏の養生」薬膳茶の実施 (6月14日) は見送らざる得ないことになりました。さらに先日開催した幹事会では、来年2月14日に延期していた研究集会を中止するという残念な決断をしたところでございます。日頃からご支援とご鞭撻をいただいているみなさまには大変申し訳ない結果でございますが、1日も早い正常化を願ってここに本年度の研究集会中止の旨をご報告させていただきます。

ところで 教育自然学研究会は、今年で設立9年目となります。この間3年ごとに大きな目標をたてて活動してきました。本年度はその区切りとなります。そのような区切りの時期にあたって、会の設置趣旨をより具体的に実現する目的で「グリーン推進担当」を設け、学校や病院への育樹促進に向けた活動を計画・準備しているところでございます。身近で必要なところに一本でも多くの樹木を育て、自然の恩恵を日常的に感じ取れる環境作りを目標としています。

そのような折、私はこの度の研究集会で五感をテーマに講演させていただく予定でした。1つの理由は地球環境問題です。日本でこの問題が取り上げられるようになったのは高度経済成長期の環境汚染と四大公害からですが、その30年後には地球温暖化、酸性雨、オゾンホールなど問題が顕在化し、さらにその30年後の今日では地球温暖化による気候変動や山火事あるいは海洋プラスチックごみ問題などがクローズアップされています。こうした問題には、一人ひとりが実際に自然に触れ五感で学ぶことが重要です。実はこれは、さかなクンが国会の調査会で主張したものです。ただし彼はギョ感と言いましたが (笑い)。またグレッタ・トゥーンベリさんが「あなた (大人) は私の未来を盗んでいる」と声明文を出すときも、五感で強く感じているからでしょう。五感で感じることは行動につながります。2つ目の理由は、コロナによって余儀なくされた日々の生活から実感したものです。ほぼ完全に町内に閉じこもる生活に潤いを与えてくれたのは、これまでだったら気にも留めなかった身近にある自然でした。五感の回路を開いて自然 (大地、海、空、そこに住む生命) に触れる喜びを語ったのは、「センス・オブ・ワンダー」のレイチェル・カーソンでした。知ることもより感じることも、五感を通して自然を感じることの喜びは全ての人が手に入られるものだと思います。コロナの今こそ一層重みがあります。

以上簡単ではありますが、ご報告と研究集会でお話ししたかったことの概略でございます。

みなさまには、時節柄ますますご自愛の程、お祈り申し上げます。

会長 高畑尚之



2,世話人会・決算報告について

令和2年8月18日(火)に第1回世話人会が鎌倉婦人子供会館で開催されました。

・今年2月から新型コロナ感染が世界的に発生して集団感染防止のために様々な活動や事業・学校の授業等も長い間自粛されたため当会もその影響で2月の横浜市金沢区大道小学校の「ふるさと大道村」見学ワークショップ(WS)を境に活動を自粛し、限られた会議となり皆様に報告が遅れましたことにお詫び申し上げます。ここに改めて今後の予定と活動事業の結果を報告させていただきました。

- ・平成31年度(2019)事業報告・決算報告 収入・支出の部904,904円で承認されました。
- ・令和2年度(2020)事業報告・予算案 収入・支出の部833,015円で承認されました。
- ・世話人について副会長に国吉一夫氏・新任に長谷川賢太郎氏が承認されました。
また、グリーン活動推進担当部長に加藤一彦氏、次長に長谷川賢太郎氏が次長に選任されました。
- ・第9回 研究集会「五感はどのように人を進化させてきたか」自然の不思議第3回開催が10月25日に当初計画されましたが新型コロナウイルスの感染が終焉しないため令和3年2月14日に延期を予定していましたが、幹事会により中止にいたしました。
- ・会の活動資金につきましては、神奈川県ボランティア活動補助金の活動補助申請を「みどりの推進事業」のために継続して行うこととなりました。
- ・葉山まちづくり協会のまちづくり展等の事業、ホームページの継続・三浦半島まるごと博物館連絡会へ参加します。

- ・2018年の第7回研究集会は、「自然の不思議 第1回」、2019年の第8回「自然の不思議 第2回」研究集会が開催されましたが、台風が2年つづきで10月に多く発生して研究集会の予定日への影響が日本全国におよび記録的豪雨をもたらし、研究会の開催が危ぶまわれましたが被害の前後で開催されました。

3, 第7回 研究集会 「自然の不思議 第1回」開催

平成30年10月21日(日)世話人会の後、午後から鎌倉婦人子供会館において開催

オープニングコンサート「旅のソネット」と題して林望氏により第一曲「旅立とう」第二曲「ひとつの時代」第三曲「行き止まる」第四曲「紫雲英田の道を」第五曲「花火」第六曲「和尚さん」第七曲「八甲田」の7曲が作詞され、二宮玲子作曲・歌唱上田耕平と鎌倉女学院合唱部によりお披露目しました。

パンフレットは宇野游さんの添画によって作成されました。

○高畑会長講話 「進化の不思議」との表題にそって、センス・オブ・ワンダー(レイチェル・カールソン)子供たちへの一番大切な贈物、ゲノムDNAにみられる人類・ヒトの特徴の講話を行いました。

○研究報告 「森林浴の不思議」 中村賢世話人(北里大学名誉教授)

人間と自然の関係は6~700万年前で99.9%以上を自然の中で過ごして来た。

○事例発表 「森林療法の実施例を巡って」樹木医 鈴木清氏

森林療法と森林セラピーの相違、先進地はドイツで、1982年に日本に提唱された。匂いの成分についての講話がありました。



パンフレット



鎌倉女学院の合唱団



高畑会長



林望氏



中村賢世話人



鈴木清氏

4, 第8回 研究集会 「自然の不思議 第2回」 開催

令和元年10月20日(日)午後 鎌倉婦人子供会館において開催、

40名が参加

ミニコンサート「秋の音色をあげわう」と題して trio SaKura
フルート向井千絵・ピアノと語り櫻庭美奈子・チェロ岩瀬うららの各氏により演奏されました。

○「桑が作る街・都市計画の不思議」

客員講演 東京女子大学教授 異文化コミュニケーターの
マリ・クリスティーン氏

歴史を活かしたまちづくり静岡県松崎町松崎桑葉ファームについて 松崎町の入江長八なまこ壁や石部の棚田石積み、富岡製糸所、横浜から輸出された松崎シルク、桑の葉と蚕、養蚕の歴史、桑茶が健康良い、などが紹介されました。

○「自然災害について」瀬尾克美世話人の講演、

過去に関係した防災事例の紹介と神奈川県災害情報ポータルについて世界と日本の災害事例を紹介しました。

○研究発表 「天災を乗り越える揚げ船の不思議」矢嶋信幸世話人(事務局長)が発表しました。

過去の河川災害の教訓から上げ舟を大型化して災害に備え減災へと利用する。



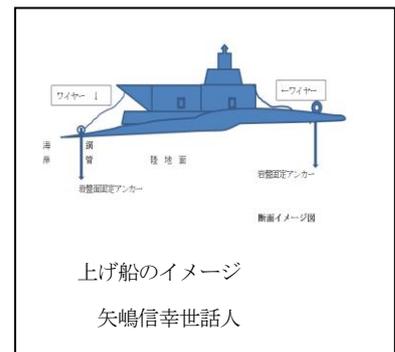
マリ・クリスティーン氏



秋の音色をあげわう
trio SaKura



瀬尾克美世話人



研究集会は、公益信託進化学振興木村資生基金助成事業で開設され、神奈川県・神奈川県教育委員会の後援をいただきました。

5, ワークショップを開催

○自然に親しむ「薬膳茶」

開催日時 令和元年6月16日(日)会場 鎌倉婦人子供会館で開催 31名が参加

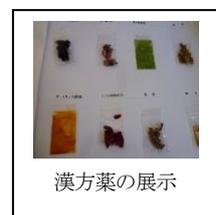
- ・漢方の不思議 葉山ハートセンター漢方医 廣瀬 薫氏による西洋医学と東洋医学の違い、こんな人に漢方、総合医療時代の講話
- ・国際薬膳師の矢嶋さとのさんと織田静子さんにより「梅雨時の薬膳茶の試飲」と「雨と湿邪の講話」により開催、自然の薬草の様々な使われ方と薬効と健康管理、薬膳茶の試飲があり、40名余りが参加し大変好評でした。



漢方医 廣瀬 薫氏



薬膳茶の試飲と説明



漢方薬の展示



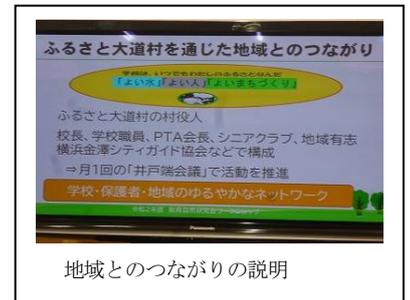
薬膳茶と試食

○ワークショップ 「ふるさと大道の風景をつくる会」 視察と見学

開催日時 令和2年2月16日(日)

会場：大道ふれあいむかし資料館 横浜市金沢区大道 大道小学校地内 31名が参加

「ふるさと大道村の風景をつくる会」相川会長と岡様からの説明の後、校舎裏庭にある古民具等の展示や地域の人達が原風景を復活、仕事と人々の暮らしの営みが継承された施設を見学させていただきました。



○鎌倉歩きと「夏の養生」薬膳茶は三浦半島まるごと博物館連絡会との共催を6月14日(日)に実施予定されておりましたがコロナ感染予防のため中止となりました。

6,葉山まちづくり展で成果を展示発表

令和元年(2019)5月17日(金)~19日(日)

葉山町福祉文化会館

葉山まちづくり実行委員会主催の「葉山を楽しもう」の第19回葉山まちづくり展に参加し、当会の開催しました各事業の結果と講演概要と写真をまじえて展示し来場者に説明を行いました。第19回まちづくり展には「皇室思い出写真展」が同時開催されました。さらに6月30日(日)葉山町上山口館において同様の展示が行われ、別日程の各団体のイベントを含めまして延1,736人余りの方にご覧いただきました。



◎会を支援していただいている方々

公益信託進化学振興木村資生基金

鎌倉女学院、(株)サカタのタネ、(株)濱田園、ホテル葉山館

加瀬健二、竹腰雅子、梅沢ゆ可里、宇野真智子、小田由紀、金子英樹、渋谷節子、杉山美智子、高畑志津子、土橋 節、中村光男、栗原洋子、森本芙佐子、布瀬 恵、榎本麻美子、伊藤統一

(以上敬称略、世話人以外で会員・協賛会員・協賛団体の方のお名前をご紹介します。)

ありがとうございました。

引き続き活動へのご協力と会費の納入をお願いいたします。

併せて、お友達・知人の方へ会員ご加入くださるようお願い致します。

発行人：高畑尚之 編集人：矢嶋信幸